

平成19年7月6日

報道機関 各位

東北大学大学院法学研究科

東北大学創立100周年記念事業・21世紀COE国際シンポジウム
「ジェンダー平等と社会的多様性—理論と政策の架橋を目指して—」

このたび、私どもの21世紀COEプログラム（社会科学分野）「男女共同参画社会の法と政策—ジェンダー法・政策研究センター」（拠点リーダー 辻村みよ子・法学研究科教授）では、下記の要領で国際シンポジウムを開催することになりましたので、お知らせいたします。

この国際シンポジウムでは、幣COE拠点が続けてまいりました5年間の研究・教育活動の締めくくりとしまして、ラディカル・フェミニズムの第一人者として著名なキャサリン・マッキノン教授、上野千鶴子教授をはじめ、8カ国から11名の第一線でご活躍されている研究者、実務家、大臣経験者（猪口邦子前大臣）等を講演者に、また国内の多数の著名な研究者をコメンテーターに迎えて、男女共同参画を促進する理論と政策を概観いたします。世界各国のジェンダー平等および社会的多様性の現状や具体的取組みが比較の視点から明らかにされ、理論と政策の架橋をめざした活発な議論が期待されます。

21世紀の日本と国際社会がめざす「男女共同参画」の実現と、望ましい「社会的多様性」のあり方のための実践知は何か——少子化・高齢化・多文化共生の進む現在、その解決は喫緊の課題と言えます。報道関係の皆様におかれましても、紙面および番組づくりの等の参考に、ぜひご来場をお待ちしております。

記

日時：平成19年7月29日（日）～7月31日（火）

場所：仙台国際センター

講演者：キャサリン・A・マッキノン（米国・ミシガン大学ロースクール教授 ジェンダー法学）

上野千鶴子（東京大学大学院人文社会系研究科教授 社会学）

朱曉青（中国・社会科学院法律研究所教授・同附属ジェンダー法研究所所長 国際人権法）

キム・ソンウク（韓国・梨花女子大学校法科大学教授、前韓国法制処長）

猪口邦子（衆議院議員・前内閣府特命担当大臣[少子化・男女共同参画担当]）ほか

コメンテーター：浅倉むつ子（早稲田大学教授）、竹村和子（お茶の水女子大学教授）、土佐弘之（神戸大学教授）、角田由紀子弁護士ほか多数

*使用言語：日本語・英語（同時通訳）、*対象：研究者、実務家、学生、一般市民、*入場料：無料（プログラムの詳細については、添付のポスターおよび <http://www.law.tohoku.ac.jp/COE/> をご参照ください。）

<問い合わせ先>

東北大学大学院法学研究科 COE 支援室

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

電話：022-795-3740 FAX：022-795-3740

E-mail：21coe@law.tohoku.ac.jp

※なお、29日（日）のセッション終了後（17:30～）、上記講演者ほかによる記者会見を予定しております。詳細については追ってお知らせいたします。



TOHOKU UNIVERSITY

東北大学創立
100周年記念事業

21世紀COEプログラム

「男女共同参画社会の法と政策」

国際シンポジウム

ジェンダー平等と

社会的多様性

理論と政策の架橋をめざして

International Perspectives on Gender Equality & Social Diversity

Catharine A. MacKinnon
キャサリン・A・マッキノン

Zhu Xiaoqing
朱晓青

Chizuko Ueno
上野千鶴子

Marilisa D'Amico
マリリーサ・ダミーコ

Kimberlé Crenshaw
キンバリー・W・クレンショウ

Sandra Whitworth
サンドラ・ウィットワース

Nathalie Des Rosiers
ナタリー・デロズィエ

Susan Emmenegger
スーザン・エンメネッガー

Léna Gannagé
レナ・ガナジェ

Kim Sun Uk
キム・ソンウク

Kuniko Inoguchi
猪口邦子

日時:2007年7月29日(日)~31日(火)

会場:仙台国際センター 2階大会議室「橋」

参加費無料

要事前申込・各セッション
200名まで

参加をご希望の方は、申込用紙(Webページでダウンロード、あるいは直接ご請求ください)に必要事項を記入の上、下記宛先までお送り下さい。7月6日締切です。
また、シンポジウム期間中託児(1歳6ヵ月から。有料)を実施します。ご希望の方は、申込締切日までに、申込用紙に同じく記入の上ご返送下さい。
なお、託児の収容人員には限りがございます。ご希望に添えない場合はご容赦下さい。

主催/東北大学21世紀COEプログラム
「男女共同参画社会の法と政策」
ジェンダー法・政策研究センター

後援/仙台観光コンベンション協会

JR仙台駅前バス乗り場
(9番)より市営バス710、
713、715、719、720系統
に乗車(約10分)、「博物
館・国際センター前」にて
下車



Timetable

2007年7月29日(日)14時～17時30分
[基調講演]



キャサリン・A・マッキノン
米国 ミシガン大学教授(ジェンダー法学)
Catharine A. MacKinnon
Professor, Michigan Law School, USA



朱曉青
中国 社会科学院法学研究所教授(国際人権法)
Zhu Xiaoping
Professor, Chinese Academy of Social Science, China



上野千鶴子
東京大学教授(社会学)
Chizuko Ueno
Professor, The University of Tokyo, Japan

2007年7月30日(月)
9時～12時(第一分科会)
[報告者]



マリリーサ・ダミーコ
イタリア ミラノ大学教授(比較憲法)
Marilisa D'Amico
Professor, University of Milan, Italy



キンバリー・W・クレンショー
米国 コロンビア大学/UCLA教授(比較憲法)
Kimberlé Crenshaw
Professor, Columbia Law School / UCLA Law School, USA



サンドラ・ウィットワース
カナダ ヨーク大学教授(国際関係論)
Sandra Whitworth
Professor, University of York, Canada

14時～17時(第二分科会)
[報告者]



ナタリー・デロズィエ
カナダ オタワ大学法学部長(民法)
Nathalie Des Rosiers
Professor, University of Ottawa, Canada



スーザン・エンメネッガー
スイス ベルン大学教授(民法)
Susan Emmenegger
Professor, University of Bern, Switzerland



レナ・ガナジェ
フランス パリ第二大学教授(民法)
Léna Gannagé
Professor, University of Paris II, France

2007年7月31日(火)9時～12時
[最終日基調報告]



キム・ソンウク
韓国 前法制処長 梨花女子大学教授(ジェンダー法学)
Kim Sun Uk
Former Minister of Governmental Legislation,
Professor, Ewha Women's University, Korea



猪口邦子
衆議院議員
前内閣府特命担当大臣[少子化・男女共同参画](国際関係論)
Kuniko Inoguchi
Member of the House of the Representatives,
Former Minister of Gender Equality, Japan

[初日 開会式挨拶]



井上明久
東北大学総長
Akihisa Inoue
President, Tohoku University



村井嘉浩
宮城県知事
Yoshihiro Murai
Governor, Miyagi Prefecture



辻村みよ子
東北大学教授(憲法・ジェンダー法学)
21世紀COE「男女共同参画社会の法と政策」拠点リーダー
Miyoko Tsujimura
Professor, Tohoku University, COE Program Leader

全日程に
日英同時
通訳が
つきます

*International
Perspectives on
Gender Equality &
Social Diversity*

申込み・問合せ先

東北大学21世紀COEプログラム
ジェンダー法・政策研究センター
[Tel] 022-723-1965 [Fax] 022-723-1966
[E-mail] symposium2007@law.tohoku.ac.jp
[Website] <http://www.law.tohoku.ac.jp/COE/>